

平成 27 年度秦野市 Web アンケート調査  
(第 4 回目)  
報告書

平成 28 年 3 月

秦野市



# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的 .....	3
2 調査の設計及び回収結果 .....	3
3 アンケートの調査項目 .....	3
4 調査結果をみる上での注意事項 .....	3
<b>II 調査結果（第4回目）</b> .....	<b>5</b>
1 属性 .....	6
(1) 性別 .....	6
(2) 年齢 .....	6
(3) 居住地区 .....	6
2 秦野市議会議員選挙について .....	7
(1) 昨年8月30日に実施した秦野市議会議員選挙の投票について .....	7
(2) 秦野市議会議員選挙の投票に行かなかった理由 .....	8
(3) 期日前投票制度の認知 .....	9
(4) 不在者投票制度について .....	10
(5) 認知している選挙時の啓発活動 .....	11
3 国際交流の在り方について .....	12
(1) 参加したい国際交流 .....	12
(2) 海外都市との交流について .....	13
(3) 海外都市との交流事業で、今後必要とされる広報について .....	14
(4) 国際化が促進されていく中で、今後必要な取り組みについて .....	15
4 こころの健康に関する意識調査 .....	16
(1) 睡眠について .....	16
(2) ストレス解消法について .....	17



# I 調査の概要



## 1 調査の目的

---

この調査は秦野市の行政サービスの向上と、市民の行政に対する意識向上のための基礎資料とするために実施する。

## 2 調査の設計及び回収結果

---

本調査の実施方法は以下のとおりである。

① 調査地域	市内全域
② 調査対象	秦野市のネット調査会社の登録者
③ 対象者数	400人（回収ベース）
④ 母集団	秦野市のネット調査会社の登録者約 2800人
⑤ 抽出方法	全数
⑥ 調査方法	ネット調査（楽天リサーチ株式会社）
⑦ 調査期間	平成 28 年 2 月 12 日～2 月 24 日
⑧ 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

## 3 アンケートの調査項目

---

秦野市議会議員選挙、国際交流の在り方、およびこころの健康に関する意識調査について調査項目を設定した。

## 4 調査結果をみる上での注意事項

---

- ① 回答はn（有効回収数）を基準とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入した。  
このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ② 集計結果の表やグラフでは、コンピューター入力の都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合がある。



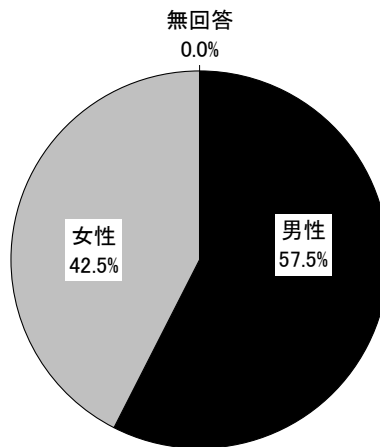


## Ⅱ 調査結果（第4回目）

# 1 属性

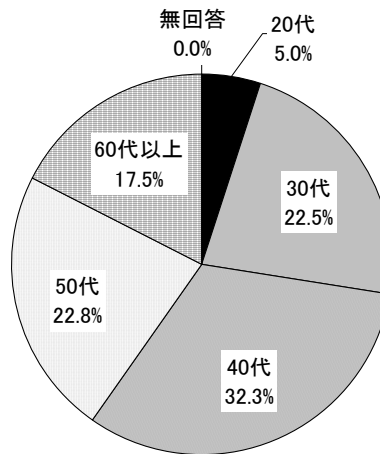
## (1) 性別

n=400



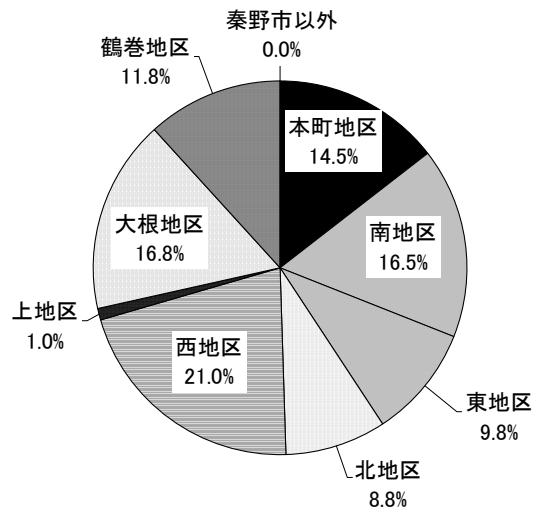
## (2) 年齢

n=400



## (3) 居住地区

n=400

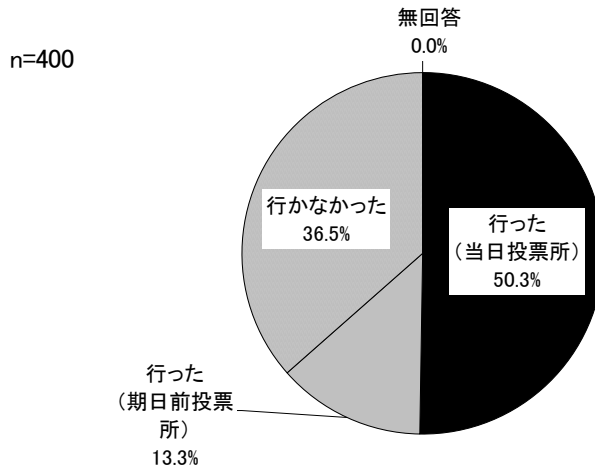


## 2 秦野市議会議員選挙について

### (1) 昨年8月30日に実施した秦野市議会議員選挙の投票について

昨年8月30日に実施した秦野市議会議員選挙の投票に行ったかどうかをたずねたところ、「行った（当日投票所）」が50.3%と半数を占めており、「行った（期日前投票所）」の13.3%を加えると6割が秦野市議会議員選挙の投票に行ったと回答している。また、「行かなかった」は36.5%であった。

□ Q1. 昨年8月30日に実施した秦野市議会議員選挙の投票に行きましたか。[SA]



性別では、「行った（当日投票所）」で男性（54.8%）が女性（44.1%）より高くなっている。

年代別でみると、「行った（当日投票所）」については、20代（30.0%）が低く、60代以上（65.7%）が他の年代と比べて高くなっている。

一方、「行かなかった」では、20代（55.0%）が高く、60代以上（20.0%）が他の年代と比べて低くなっている。

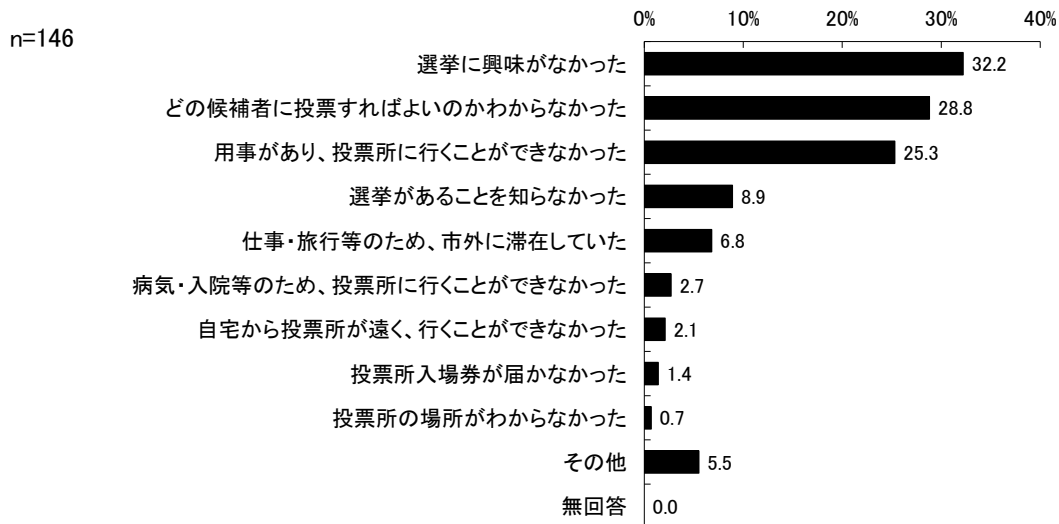
性・年代別では、「行った（当日投票所）」で男性60代以上（71.2%）が他の性・年代より高く、「行った（期日前投票所）」（11.5%）を加える8割が投票に行ったと回答している。

		昨年8月30日の秦野市議会議員選挙の投票に行ったかどうか			
		全体 (実数)	行った (当日投票所)	行った (期日前投票所)	行かなかった
		(%)			
全体		400	50.3	13.3	36.5
性別	男性	230	54.8	11.3	33.9
	女性	170	44.1	15.9	40.0
年代	20代	20	30.0	15.0	55.0
	30代	90	50.0	13.3	36.7
	40代	129	43.4	14.0	42.6
	50代	91	52.7	11.0	36.3
	60代以上	70	65.7	14.3	20.0
	男性計	230	54.8	11.3	33.9
性別 × 年代	20代	3	0.0	33.3	66.7
	30代	43	58.1	9.3	32.6
	40代	72	45.8	13.9	40.3
	50代	60	51.7	8.3	40.0
	60代以上	52	71.2	11.5	17.3
	女性計	170	44.1	15.9	40.0
	20代	17	35.3	11.8	52.9
	30代	47	42.6	17.0	40.4
	40代	57	40.4	14.0	45.6
	50代	31	54.8	16.1	29.0
60代以上	18	50.0	22.2	27.8	

## (2) 秦野市議会議員選挙の投票に行かなかった理由

Q1 で「行かなかった」とお答えの方に、その理由をたずねたところ、「選挙に興味がなかった」が32.2%と最も高く、次いで「どの候補者に投票すればよいのかわからなかった」(28.8%)、「用事があり、投票所に行くことができなかった」(25.3%)の順となっている。

□ Q2. 秦野市議会議員選挙の投票に行かなかった理由をお選びください。[MA]



性別では、大きな差は見られない。

年代別では、「選挙があることを知らなかった」で20代(27.3%)が他の年代より高く、50代(0.0%)、60代以上(0.0%)が低くなっている。また、その割合は若年層ほど高くなっている。「どの候補者に投票すればよいのかわからなかった」では、20代(9.1%)が低く、60代以上(50.0%)が他の年代より高く、高齢層ほど高くなる傾向にある。「用事があり、投票所に行くことができなかった」で40代(30.9%)、50代(33.3%)が他の年代より高くなっている。

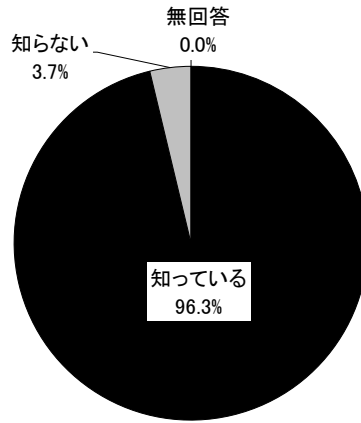
		秦野市議会議員選挙の投票に行かなかった理由 (MA)										
		全体 (実数)	選挙に興 味がな かった	どの候補 者に投票 すればよ いのかわ からな かった	用事があ り、投票 所に行 くこと ができ な かった	選挙があ ることを 知らな かった	仕事・旅 行等のた め、市外 に滞在 してい た	病気・入 院等のた め、投票 所に行 くこと ができ な かった	自宅から 投票所が 遠く、行 くこと ができ な かった	投票所入 場券が届 かなか った	投票所の 場所がわ からな かった	その他
		(%)										
全体		146	32.2	28.8	25.3	8.9	6.8	2.7	2.1	1.4	0.7	5.5
性別	男性	78	32.1	26.9	28.2	9.0	7.7	0.0	0.0	2.6	0.0	5.1
	女性	68	32.4	30.9	22.1	8.8	5.9	5.9	4.4	0.0	1.5	5.9
年代	20代	11	36.4	9.1	9.1	27.3	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	27.3
	30代	33	33.3	27.3	21.2	12.1	9.1	9.1	6.1	0.0	0.0	0.0
	40代	55	34.5	23.6	30.9	10.9	5.5	1.8	0.0	0.0	0.0	3.6
	50代	33	18.2	36.4	33.3	0.0	6.1	0.0	0.0	3.0	0.0	6.1
	60代以上	14	50.0	50.0	7.1	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1
性別 × 年代	男性計	78	32.1	26.9	28.2	9.0	7.7	0.0	0.0	2.6	0.0	5.1
	20代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	30代	14	50.0	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40代	29	31.0	6.9	41.4	17.2	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4
	50代	24	12.5	37.5	33.3	0.0	8.3	0.0	0.0	4.2	0.0	8.3
	60代以上	9	66.7	44.4	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	女性計	68	32.4	30.9	22.1	8.8	5.9	5.9	4.4	0.0	1.5	5.9
	20代	9	44.4	11.1	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	33.3
	30代	19	21.1	15.8	26.3	10.5	15.8	15.8	10.5	0.0	0.0	0.0
	40代	26	38.5	42.3	19.2	3.8	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	3.8
50代	9	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
60代以上	5	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	

### (3) 期日前投票制度の認知

投票日当日に投票に行けない場合に、事前に投票することができる期日前投票制度があることを知っているかをたずねたところ、「知っている」が96.3%と9割以上が知っていると回答している。

□ Q3. 投票日当日に投票に行けない場合に、事前に投票することができる期日前投票制度があることを知っていますか。[SA]

n=347



性別では、大きな差は見られない。

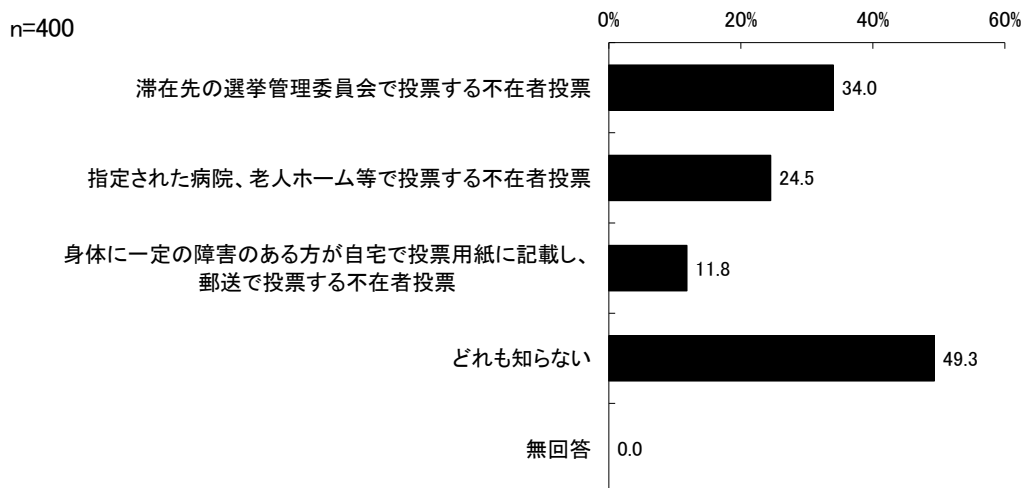
年代別では、「知っている」で20代(76.5%)が低く、30代以上では9割以上が「知っている」と回答している。また、その割合は高齢層ほど高くなっている(30代-94.9%、40代-96.4%、50代-98.8%、60代以上-100%)。

		期日前投票制度の認知		
		全体 (実数)	知っている	知らない
		(%)		
全体		347	96.3	3.7
性別	男性	204	96.6	3.4
	女性	143	95.8	4.2
年代	20代	17	76.5	23.5
	30代	78	94.9	5.1
	40代	111	96.4	3.6
	50代	81	98.8	1.2
	60代以上	60	100.0	0.0
性別 × 年代	男性計	204	96.6	3.4
	20代	2	50.0	50.0
	30代	39	94.9	5.1
	40代	62	95.2	4.8
	50代	55	98.2	1.8
	60代以上	46	100.0	0.0
	女性計	143	95.8	4.2
	20代	15	80.0	20.0
	30代	39	94.9	5.1
	40代	49	98.0	2.0
50代	26	100.0	0.0	
60代以上	14	100.0	0.0	

#### (4) 不在者投票制度について

認知している不在者投票はどれかをたずねたところ、「どれも知らない」が49.3%と最も高く、約半数が知らないと回答している。認知している不在者投票については、「滞在先の選挙管理委員会で投票する不在者投票」が34.0%、「指定された病院、老人ホーム等で投票する不在者投票」が24.5%となっている。

□ Q4. 当日投票所や期日前投票所へ投票に行けない人が滞在先等で投票できる不在者投票制度がありますが、次のうち知っている不在者投票はどれですか。[MA]



性別では、「滞在先の選挙管理委員会で投票する不在者投票」で男性(39.1%)が女性(27.1%)より高く、「どれも知らない」で女性(53.5%)が男性(46.1%)より高くなっている。

年代別では、「滞在先の選挙管理委員会で投票する不在者投票」で20代(20.0%)が低く、50代(40.7%)、60代以上(37.1%)が他の年代より高くなっている。「指定された病院、老人ホーム等で投票する不在者投票」については、20代(5.0%)が低く、60代以上(44.3%)が他の年代より高くなっている。

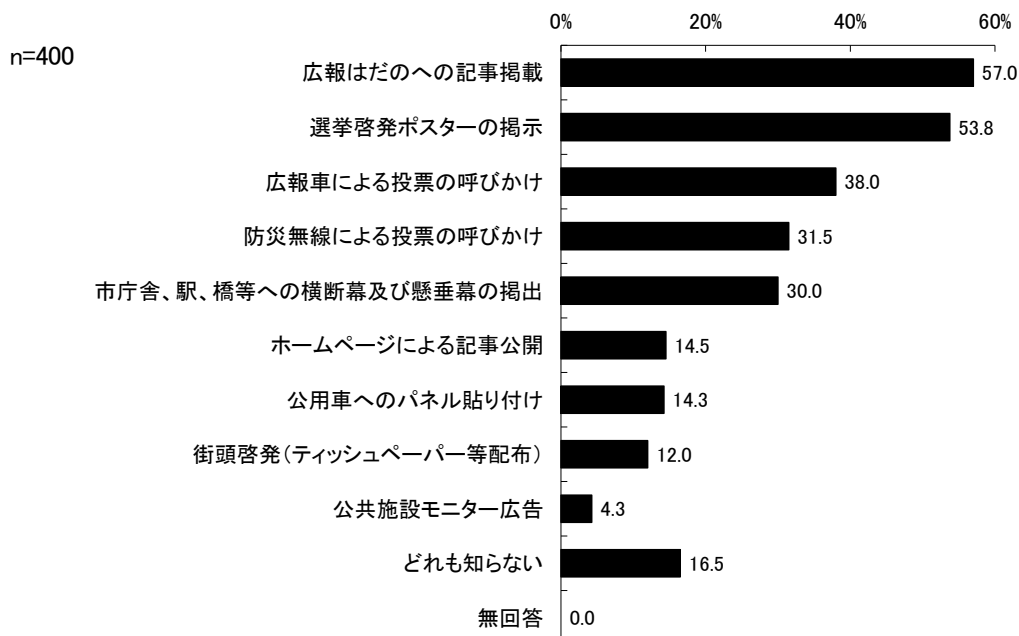
また、「どれも知らない」で20代(65.0%)が高く、60代以上(34.3%)が他の年代より低く、若年層ほど割合が高くなる傾向にある。

		不在者投票制度は次のうちどれか(MA)				
		全体 (実数)	滞在先の選挙管理委員会で投票する不在者投票	指定された病院、老人ホーム等で投票する不在者投票	身体に一定の障害のある方が自宅で投票用紙に記載し、郵送で投票する不在者投票	どれも知らない
		(%)				
全体		400	34.0	24.5	11.8	49.3
性別	男性	230	39.1	23.5	10.9	46.1
	女性	170	27.1	25.9	12.9	53.5
年代	20代	20	20.0	5.0	15.0	65.0
	30代	90	33.3	21.1	10.0	52.2
	40代	129	30.2	20.2	8.5	55.0
	50代	91	40.7	23.1	11.0	46.2
	60代以上	70	37.1	44.3	20.0	34.3
	男性計	230	39.1	23.5	10.9	46.1
性別×年代	20代	3	33.3	0.0	0.0	66.7
	30代	43	32.6	16.3	7.0	53.5
	40代	72	37.5	16.7	8.3	52.8
	50代	60	46.7	21.7	10.0	43.3
	60代以上	52	38.5	42.3	19.2	32.7
	女性計	170	27.1	25.9	12.9	53.5
	20代	17	17.6	5.9	17.6	64.7
	30代	47	34.0	25.5	12.8	51.1
	40代	57	21.1	24.6	8.8	57.9
	50代	31	29.0	25.8	12.9	51.6
60代以上	18	33.3	50.0	22.2	38.9	

(5) 認知している選挙時の啓発活動

選挙時に行っている啓発活動で知っているものをたずねたところ、「広報はだのへの記事掲載」が57.0%と最も高く、次いで「選挙啓発ポスターの掲示」(53.8%)、「広報車による投票の呼びかけ」(38.0%)の順となっている。

□ Q5. 選挙時に次のような啓発活動を行っていますが、知っているものはどれですか。[MA]



性別では、「選挙啓発ポスターの掲示」で女性(58.8%)が男性(50.0%)より高くなっている。

年代別では、「広報はだのへの記事掲載」で20代(25.0%)が低く、60代以上(78.6%)が高くなっている。「選挙啓発ポスターの掲示」や「広報車による投票の呼びかけ」「防災無線による投票の呼びかけ」でも20代が低く、60代以上が他の年代より高くなっている。また、「防災無線による投票の呼びかけ」と回答した割合は高齢層ほど高くなっている。

「どれも知らない」については、20代(45.0%)が高く、60代以上(4.3%)が他の年代より低く、また若年層ほど割合が高くなる傾向にある。

		認知している選挙時の啓発活動(MA)										
		全体 (実数)	広報はだのへの記事掲載	選挙啓発ポスターの掲示	広報車による投票の呼びかけ	防災無線による投票の呼びかけ	市庁舎、駅、橋等への横断幕及び懸垂幕の掲出	ホームページによる記事公開	公用車へのパネル貼り付け	街頭啓発(ティッシュペーパー等配布)	公共施設モニター広告	どれも知らない
全体		400	57.0	53.8	38.0	31.5	30.0	14.5	14.3	12.0	4.3	16.5
性別	男性	230	58.3	50.0	37.8	30.9	28.7	14.3	11.7	10.4	4.3	17.8
	女性	170	55.3	58.8	38.2	32.4	31.8	14.7	17.6	14.1	4.1	14.7
年代	20代	20	25.0	35.0	10.0	15.0	35.0	10.0	20.0	15.0	0.0	45.0
	30代	90	55.6	56.7	38.9	24.4	30.0	10.0	17.8	15.6	7.8	17.8
	40代	129	47.3	49.6	33.3	24.8	20.9	13.2	13.2	10.1	3.9	17.8
	50代	91	62.6	54.9	41.8	35.2	33.0	19.8	14.3	11.0	2.2	16.5
	60代以上	70	78.6	61.4	48.6	52.9	41.4	17.1	10.0	11.4	4.3	4.3
	男性計	230	58.3	50.0	37.8	30.9	28.7	14.3	11.7	10.4	4.3	17.8
性別×年代	20代	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
	30代	43	48.8	46.5	32.6	18.6	25.6	4.7	11.6	11.6	4.7	27.9
	40代	72	48.6	48.6	34.7	20.8	20.8	16.7	12.5	11.1	4.2	18.1
	50代	60	58.3	46.7	38.3	30.0	28.3	18.3	13.3	8.3	3.3	20.0
	60代以上	52	82.7	61.5	48.1	57.7	44.2	13.5	9.6	11.5	5.8	3.8
	女性計	170	55.3	58.8	38.2	32.4	31.8	14.7	17.6	14.1	4.1	14.7
	20代	17	29.4	41.2	11.8	17.6	41.2	5.9	23.5	17.6	0.0	41.2
	30代	47	61.7	66.0	44.7	29.8	34.0	14.9	23.4	19.1	10.6	8.5
	40代	57	45.6	50.9	31.6	29.8	21.1	8.8	14.0	8.8	3.5	17.5
	50代	31	71.0	71.0	48.4	45.2	41.9	22.6	16.1	16.1	0.0	9.7
60代以上	18	66.7	61.1	50.0	38.9	33.3	27.8	11.1	11.1	0.0	5.6	

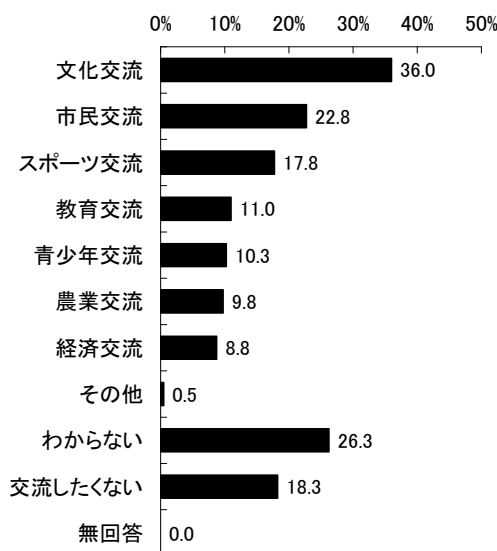
### 3 国際交流の在り方について

#### (1) 参加したい国際交流

参加したい国際交流をたずねたところ、「文化交流」が36.0%と最も高く、次いで「市民交流」(22.8%)、「スポーツ交流」(17.8%)の順となっている。

- Q6. 現在本市では、海外姉妹都市アメリカ合衆国パサデナ市とは、両市小中学校の姉妹校交流や市民親善訪問団など、海外友好都市大韓民国坡州市とは、青少年の相互交流や、少年サッカー交流、市民親善訪問団などの交流事業を展開していますが、あなたは、どのような分野の交流なら、参加したいと思いますか。[MA]

n=400



性別では、「経済交流」と回答している割合は男性(11.7%)が女性(4.7%)より高く、「文化交流」や「教育交流」では女性(「文化交流」41.2%、「教育交流」15.3%)が男性(「文化交流」32.2%、「教育交流」7.8%)より高くなっている。

年代別では、「スポーツ交流」で30代(25.6%)が高く、60代以上(5.7%)が他の年代より低くなっている。「交流したくない」では20代(30.0%)が他の年代より高くなっている。

		参加したい国際交流の分野(MA)										
		全体 (実数)	文化交流	市民交流	スポーツ 交流	教育交流	青少年交 流	農業交流	経済交流	その他	わから ない	交流した くない
(%)												
全体		400	36.0	22.8	17.8	11.0	10.3	9.8	8.8	0.5	26.3	18.3
性別	男性	230	32.2	22.2	18.7	7.8	10.4	10.9	11.7	0.0	26.1	20.9
	女性	170	41.2	23.5	16.5	15.3	10.0	8.2	4.7	1.2	26.5	14.7
年代	20代	20	35.0	10.0	15.0	15.0	10.0	5.0	5.0	0.0	20.0	30.0
	30代	90	41.1	24.4	25.6	20.0	16.7	15.6	11.1	2.2	23.3	12.2
	40代	129	32.6	17.8	17.1	9.3	12.4	8.5	9.3	0.0	27.9	21.7
	50代	91	40.7	27.5	20.9	8.8	6.6	9.9	7.7	0.0	22.0	19.8
	60代以上	70	30.0	27.1	5.7	4.3	2.9	5.7	7.1	0.0	34.3	14.3
	男性計	230	32.2	22.2	18.7	7.8	10.4	10.9	11.7	0.0	26.1	20.9
性別 × 年代	20代	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
	30代	43	32.6	25.6	25.6	14.0	16.3	14.0	16.3	0.0	18.6	20.9
	40代	72	30.6	13.9	19.4	8.3	15.3	12.5	13.9	0.0	25.0	25.0
	50代	60	36.7	21.7	23.3	5.0	6.7	10.0	11.7	0.0	25.0	21.7
	60代以上	52	30.8	32.7	7.7	5.8	3.8	7.7	5.8	0.0	34.6	11.5
	女性計	170	41.2	23.5	16.5	15.3	10.0	8.2	4.7	1.2	26.5	14.7
	20代	17	41.2	11.8	17.6	17.6	11.8	5.9	5.9	0.0	17.6	23.5
	30代	47	48.9	23.4	25.5	25.5	17.0	17.0	6.4	4.3	27.7	4.3
	40代	57	35.1	22.8	14.0	10.5	8.8	3.5	3.5	0.0	31.6	17.5
	50代	31	48.4	38.7	16.1	16.1	6.5	9.7	0.0	0.0	16.1	16.1
60代以上	18	27.8	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	33.3	22.2	

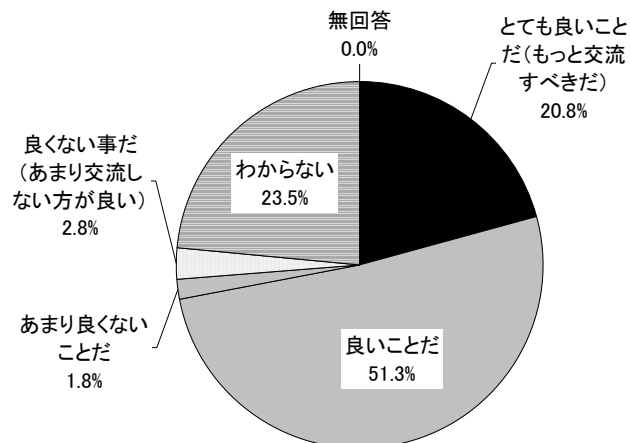


## (2) 海外都市との交流について

海外都市と交流することは良い事だと思うかについてたずねたところ、「良いことだ」が51.3%と半数を占め、「とても良いことだ（もっと交流すべきだ）」（20.8%）と合わせると7割がとても良い～良いことだと回答している。一方、「あまり良くないことだ」で1.8%、「良くない事だ（あまり交流しない方が良い）」で2.8%となっている。

□ Q7. 近隣自治体の国際交流状況等を踏まえ、海外都市と交流することは良い事だと思いますか。【SA】

n=400



性別では、「良いことだ」で女性（55.9%）が男性（47.8%）より高くなっている。

年代別で見ると、「良いことだ」で20代（35.0%）が低く、60代以上（64.3%）が他の年代より高くなっている。60以上については、「とても良いことだ（もっと交流すべきだ）」と回答した割合を加えると8割がとても良い～良いことだと回答している。

「わからない」では20代（35.0%）が他の年代より高く、60代以上（17.1%）は低くなっている。

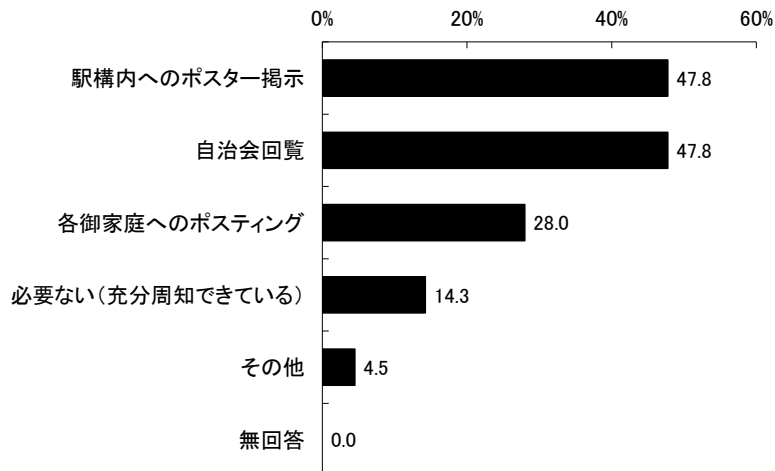
		海外都市と交流することは良い事だと思うか					
		全体 (実数)	とても良いことだ (もっと交流すべきだ)	良いことだ	あまり良くないこと だ	良くない事だ(あま り交流しない方が 良い)	わからない
全体		400	20.8	51.3	1.8	2.8	23.5
性別	男性	230	21.7	47.8	2.6	3.9	23.9
	女性	170	19.4	55.9	0.6	1.2	22.9
年代	20代	20	25.0	35.0	0.0	5.0	35.0
	30代	90	27.8	47.8	3.3	0.0	21.1
	40代	129	14.7	51.2	2.3	2.3	29.5
	50代	91	25.3	48.4	0.0	6.6	19.8
	60代以上	70	15.7	64.3	1.4	1.4	17.1
	男性計	230	21.7	47.8	2.6	3.9	23.9
性別 × 年代	20代	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	30代	43	30.2	34.9	7.0	0.0	27.9
	40代	72	16.7	45.8	2.8	4.2	30.6
	50代	60	26.7	41.7	0.0	8.3	23.3
	60代以上	52	17.3	69.2	1.9	1.9	9.6
	女性計	170	19.4	55.9	0.6	1.2	22.9
	20代	17	29.4	35.3	0.0	5.9	29.4
	30代	47	25.5	59.6	0.0	0.0	14.9
	40代	57	12.3	57.9	1.8	0.0	28.1
	50代	31	22.6	61.3	0.0	3.2	12.9
60代以上	18	11.1	50.0	0.0	0.0	38.9	

### (3) 海外都市との交流事業で、今後必要とされる広報について

海外都市との交流事業で、今後必要とされる広報をたずねたところ、「駅構内へのポスター掲示」「自治会回覧」が共に47.8%と最も高く、ついで「各御家庭へのポスティング」(28.0%)の順となっている。

- Q8. 海外都市との交流事業については、広報はだの、市ホームページ、地域情報誌への掲載や、市内公立学校へのチラシ配布及びポスター掲示などにより広報しているところですが、まだまだ周知が行き届いていないと見込まれています。あなたは、今後どのような広報が必要だと思いますか。[MA]

n=400



性別では、「自治会回覧」で男性(50.4%)が女性(44.1%)より高く、「駅構内へのポスター掲示」で女性(51.2%)が男性(45.2%)より高くなっている。

年代別では、「自治会回覧」と回答している割合は20代(30.0%)が低く、60代以上(60.0%)が他の年代より高くなっており、また、その割合は高齢層ほど高くなる傾向にある。

「駅構内へのポスター掲示」で20代(55.0%)、30代(60.0%)が高く、60代以上(35.7%)が他の年代より低くなっている。

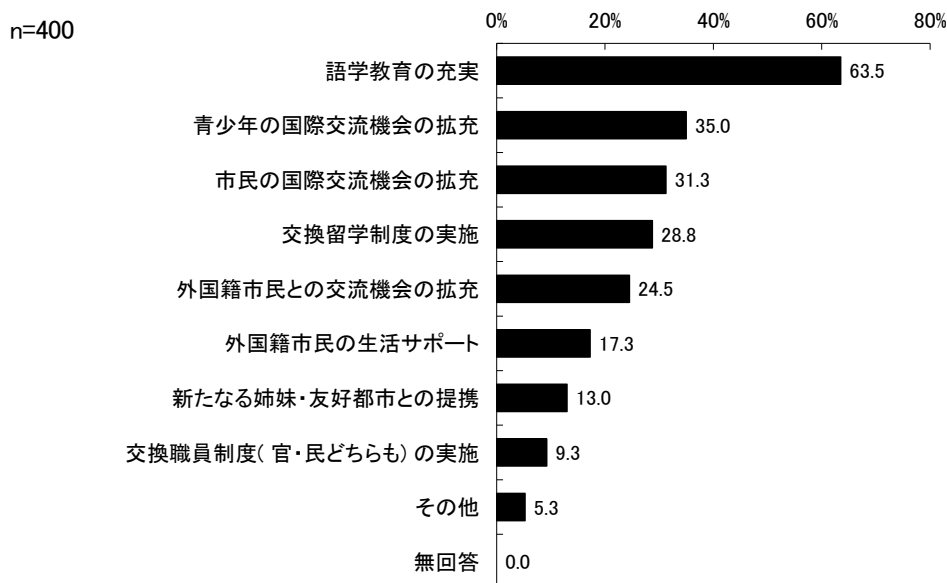
「必要ない(充分周知できている)」と回答した割合は30代(5.6%)が他の年代より低くなっている。

		今後必要だと思う広報(MA)					
		全体 (実数)	駅構内へのポ スター掲示	自治会回覧	各御家庭へのポ スティング	必要ない(充分周 知できている)	その他
(%)							
全体		400	47.8	47.8	28.0	14.3	4.5
性別	男性	230	45.2	50.4	25.7	15.2	5.2
	女性	170	51.2	44.1	31.2	12.9	3.5
年代	20代	20	55.0	30.0	25.0	20.0	5.0
	30代	90	60.0	45.6	32.2	5.6	4.4
	40代	129	47.3	42.6	27.1	17.8	3.1
	50代	91	44.0	51.6	25.3	14.3	7.7
	60代以上	70	35.7	60.0	28.6	17.1	2.9
	男性計	230	45.2	50.4	25.7	15.2	5.2
性別 × 年代	20代	3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
	30代	43	62.8	46.5	25.6	7.0	4.7
	40代	72	44.4	45.8	23.6	16.7	4.2
	50代	60	41.7	51.7	23.3	15.0	10.0
	60代以上	52	38.5	59.6	32.7	17.3	1.9
	女性計	170	51.2	44.1	31.2	12.9	3.5
	20代	17	64.7	29.4	29.4	11.8	5.9
	30代	47	57.4	44.7	38.3	4.3	4.3
	40代	57	50.9	38.6	31.6	19.3	1.8
	50代	31	48.4	51.6	29.0	12.9	3.2
60代以上	18	27.8	61.1	16.7	16.7	5.6	

(4) 国際化が促進されていく中で、今後必要な取り組みについて

国際化が促進されていく中で、今後必要な取り組みたすねたところ、「語学教育の充実」が63.5%で最も高く、次いで、「青少年の国際交流機会の拡充」(35.0%)、「市民の国際交流機会の拡充」(31.3%)の順となっている。

□ Q9. これから国際化が促進されていく中で、本市は、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。[MA]



性別では、「交換留学制度の実施」で女性(36.5%)が男性(23.0%)より高く、「語学教育の充実」でも女性(68.8%)が男性(59.6%)より高くなっている。

年代別では、「青少年の国際交流機会の拡充」で20代(25.0%)が低く、60代以上(45.7%)が他の年代より高くなっている。「市民の国際交流機会の拡充」で20代(15.0%)が低く、「交換留学制度の実施」で20代(45.0%)が他の年代より高くなっている。「語学教育の充実」では30代(73.3%)が他の年代より高くなっている。

		国際化が促進されていく中で、今後必要な取り組み(MA)									
		全体(実数)	語学教育の充実	青少年の国際交流機会の拡充	市民の国際交流機会の拡充	交換留学制度の実施	外国籍市民との交流機会の拡充	外国籍市民の生活サポート	新たなる姉妹・友好都市との提携	交換職員制度(官・民どちらも)の実施	その他
全体 (%)		400	63.5	35.0	31.3	28.8	24.5	17.3	13.0	9.3	5.3
性別	男性	230	59.6	35.7	32.2	23.0	24.3	17.0	14.3	10.4	7.4
	女性	170	68.8	34.1	30.0	36.5	24.7	17.6	11.2	7.6	2.4
年代	20代	20	65.0	25.0	15.0	45.0	20.0	15.0	15.0	5.0	5.0
	30代	90	73.3	35.6	33.3	30.0	24.4	17.8	16.7	11.1	4.4
	40代	129	57.4	29.5	30.2	24.8	21.7	17.1	12.4	7.8	5.4
	50代	91	61.5	36.3	33.0	33.0	27.5	15.4	13.2	9.9	6.6
	60代以上	70	64.3	45.7	32.9	24.3	27.1	20.0	8.6	10.0	4.3
性別×年代	男性計	230	59.6	35.7	32.2	23.0	24.3	17.0	14.3	10.4	7.4
	20代	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	30代	43	74.4	27.9	37.2	25.6	18.6	14.0	27.9	14.0	4.7
	40代	72	54.2	29.2	26.4	19.4	22.2	18.1	13.9	8.3	8.3
	50代	60	56.7	36.7	31.7	25.0	25.0	11.7	11.7	8.3	8.3
	60代以上	52	61.5	50.0	36.5	25.0	32.7	25.0	7.7	13.5	5.8
	女性計	170	68.8	34.1	30.0	36.5	24.7	17.6	11.2	7.6	2.4
	20代	17	76.5	23.5	11.8	52.9	23.5	17.6	17.6	5.9	0.0
	30代	47	72.3	42.6	29.8	34.0	29.8	21.3	6.4	8.5	4.3
	40代	57	61.4	29.8	35.1	31.6	21.1	15.8	10.5	7.0	1.8
50代	31	71.0	35.5	35.5	48.4	32.3	22.6	16.1	12.9	3.2	
60代以上	18	72.2	33.3	22.2	22.2	11.1	5.6	11.1	0.0	0.0	

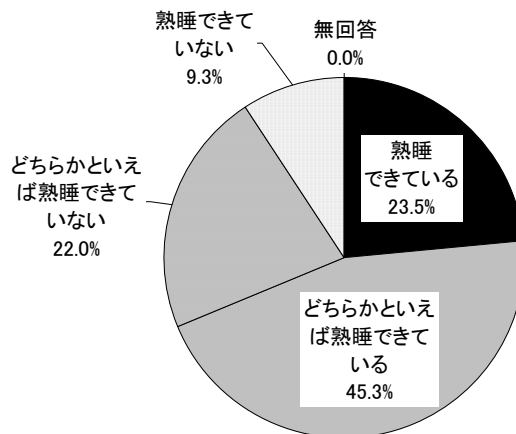
## 4 こころの健康に関する意識調査

### (1) 睡眠について

ふだん熟睡できているかをたずねたところ、「どちらかといえば熟睡できている」が45.3%と最も高く、「熟睡できている」(23.5%)と合わせると全体の7割が「どちらかといえば睡眠できている」～「熟睡できている」と回答している。また、「熟睡できていない」は全体の9.3%であった。

□ Q10. あなたは、ふだん熟睡できていますか。[SA]

n=400



性別では、大きな差はみられない。

年代別では、「熟睡できている」で60代以上(31.4%)が他の年代より高く、「どちらかといえば熟睡できている」合わせると8割以上が「どちらかといえば睡眠できている」～「熟睡できている」と回答している。

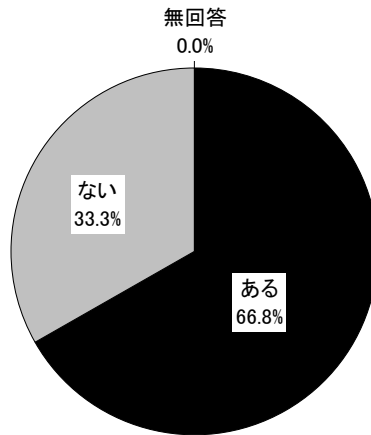
		ふだん熟睡できていますか				
		全体 (実数)	熟睡できている	どちらかといえば 熟睡できている	どちらかといえば 熟睡できていない	熟睡できていない
全体		400	23.5	45.3	22.0	9.3
性別	男性	230	25.2	45.7	20.0	9.1
	女性	170	21.2	44.7	24.7	9.4
年代	20代	20	30.0	35.0	30.0	5.0
	30代	90	16.7	42.2	31.1	10.0
	40代	129	20.9	50.4	15.5	13.2
	50代	91	26.4	37.4	27.5	8.8
	60代以上	70	31.4	52.9	12.9	2.9
性別 × 年代	男性計	230	25.2	45.7	20.0	9.1
	20代	3	33.3	66.7	0.0	0.0
	30代	43	18.6	46.5	25.6	9.3
	40代	72	25.0	45.8	15.3	13.9
	50代	60	26.7	33.3	30.0	10.0
	60代以上	52	28.8	57.7	11.5	1.9
	女性計	170	21.2	44.7	24.7	9.4
	20代	17	29.4	29.4	35.3	5.9
	30代	47	14.9	38.3	36.2	10.6
	40代	57	15.8	56.1	15.8	12.3
50代	31	25.8	45.2	22.6	6.5	
60代以上	18	38.9	38.9	16.7	5.6	

(2) ストレス解消法について

ストレス解消法があるかどうかをたずねたところ、「ある」と回答した割合が66.8%となっている。

□ Q11. あなたには、ストレス解消法がありますか。[SA]

n=400



性別・年代別では、大きな差はみられない。

		ストレス解消法があるか		
		全体 (実数)	ある	ない
		(%)		
全体		400.0	66.8	33.3
性別	男性	230.0	64.3	35.7
	女性	170.0	70.0	30.0
年代	20代	20.0	75.0	25.0
	30代	90.0	67.8	32.2
	40代	129.0	60.5	39.5
	50代	91.0	67.0	33.0
	60代以上	70.0	74.3	25.7
	男性計	230.0	64.3	35.7
性別 × 年代	20代	3.0	100.0	0.0
	30代	43.0	58.1	41.9
	40代	72.0	58.3	41.7
	50代	60.0	65.0	35.0
	60代以上	52.0	75.0	25.0
	女性計	170.0	70.0	30.0
	20代	17.0	70.6	29.4
	30代	47.0	76.6	23.4
	40代	57.0	63.2	36.8
	50代	31.0	71.0	29.0
	60代以上	18.0	72.2	27.8